

- 国は、令和3年9月時点の診療・検査医療機関等数及び平成29年度のインフルエンザ検査数実績をもとに、都道府県ごとの最大必要見込量を計算。
- 都道府県は、国に対して、最大必要見込量の範囲内で必要PPE量を要望し、管内の診療・検査医療機関に対して配分する。

最大必要見込量を計算する上での前提

診療・検査医療機関及び地域外来・検査センターの施設数	全国で計約3.3万箇所（令和3年9月時点）
診療・検査の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1施設当たり、医師1名、看護師2名、事務員等3名で対応 ・ 全施設が土日祝含め毎日対応と仮定
検査件数	平成29年度のインフルエンザ検査数と同等の検査数と仮定 全国で計約3000万回

【診療・検査場面での使用数の想定】

- 医師、看護師については、
 - ・ サージカルマスク：1日に1人1枚
 - ・ N95等マスク：1日に1人1枚
 - ・ ガウン：1日に1人2枚
 - ・ フェイスシールド：1日に1人1枚
 - ・ 手袋：検査1件につき1人1双（毎回交換）
- 事務員については、
 - ・ サージカルマスクを1日に1人1枚